

請 負 契 約 書

(2016. 5. 1版)

平成 年 月 日

(甲) お客様の住所

お客様の氏名

印

連名の場合は、署名欄に
後記の通りと書き、別紙
または余白部分に連署
して下さい。

(乙) 芦屋市公光町7番14号

コミックデジタル

店主 藤田浩司

第1条 請負事項は、甲所有の書籍の解体、解体された書籍をスキャナーによりデータ化する作業、並びに再製本処理とし、詳細は別紙依頼事項書の通りとします。

2. 本契約の各条項は請け負った内容に従い適用するものとします。

第2条 請負額は別紙見積書記載の通りとし、先払いとします。

2. 送金にかかる費用、並びに別紙請負事項記載の書籍の送料は甲の負担とします。

3. 請負事項に変更があった場合、又は見積金額に変更があった場合は、全ての作業が終了した時点で清算するものとします。

第3条 クーリングオフの期間は、原則、申込みに対する応諾の電子メールを乙から甲に対して送信した日から2週間とし、その間に別紙請負事項記載の書籍が届かなかった場合、または送金手続きが完了しなかった場合は、甲の解約の意思表示があったものとみなして、本契約は解約します。

第4条 本契約が解約された場合、すでに別紙請負事項記載の書籍が乙に届いていた時は、乙は甲に着払いで当該書籍を送り返すものとし、また既に送金手続きが完了していた時は、送金額から返金にかかる費用または手数料を差し引いて、乙は甲に返金するものとします。

第5条 請負期間の開始は、別紙請負事項記載の書籍が届き、なおかつ送金手続きが完了した事を乙が確認した時点とし、請負期間の終期は乙から甲に別紙請負事項記載の書籍の部品または取り込みデータ、並びに再製本された書籍を返送した時点とします。

2. 万が一、甲よりも後から申し込んだ者が請負期間の開始の要件を先に満たした時は、甲はその者より作業が後になる事を承認するものとします。

第6条 乙は著作権法第30・49条に抵触しないようにする為に、請負業務遂行中及び請負業務遂行後も取り込んだデータに関しては下記の事項を遵守しなければならないものとします。

記

- (1) データ化に使う全ての機器は、インターネット環境に接続していない状態の物を用います。
- (2) データ化の作業中のデータの一時保管は、使用するソフトウェアの仕様上不可能な場合を除いてRAMディスク上、またはハードウェア暗号化機能の付いた外付けハードディスク及びハードウェア暗号化機能の付いたUSBメモリ上でのみ行うものとし、ハードウェア暗号化機能の無い記録装置への複製は禁じます。但し作業完了後に甲に引き渡す記録媒体は除きます。
- (3) 上記(2)のデータが入った保管装置を、直接または間接を問わずインターネットと接続する時は、当該データを削除して行わなければならない。
- (4) データは、編集作業並びに甲に引き渡す記録媒体への書き込み作業以外で複製する事を禁じます。
- (5) データは、法定の手続きを経て閲覧を申し込んだ第三者以外の者に閲覧させる事を禁じます。

第7条 故意または過失を問わず乙が前条に違反した事が原因で、甲に対して第三者より損害賠償等の請求がなされ、その結果甲に賠償義務が発生した時は、乙はその債務を引き受ける事を承認し、乙の責任で解決するものとします。

第8条 甲は著作権法第30・49条に抵触しないようにする為に、別紙請負事項に該当する書籍並びに乙から引き渡された記録媒体とデータに関して下記の事項を遵守しなければならぬものとします。

記

- (1) 本契約により乙に送付される書籍は、甲の完全な所有物とし、家族を含む第三者の所有物または所有権の一部ではない事。但し、共有で持っている書籍については、共有者全員の連名で申し込む事。
- (2) 乙から甲に引き渡された書籍またはその部品、並びにデータの入った記録媒体は著作権者の権利を侵害する事の無いよう保管する事。
- (3) 乙から甲に引き渡された、データの入った記録媒体を鑑賞する時の再生装置は、インターネットと物理的に遮断された状態で使用する事。
- (4) 乙から甲に引き渡された、データの入った記録媒体のデータは乙本人の私的利用以外で複製しない事。
- (5) 乙から甲に引き渡された、データの入った記録媒体のデータを私的利用の為に複製する時は、直接または間接を問わずインターネットと物理的に遮断された状態の記録装置に対して行うものとし、当該記録装置はインターネットと物理的に遮断された状態の下で使用する事。
- (6) やむを得ず上記(5)の記録装置を直接又は間接的にインターネットに接続する時は、予め当該データを削除した上で接続する事。
- (7) データの入った記録媒体とそのデータは乙本人の私的利用に限り利用するものとし、家族以外の第三者へ貸与しない事。また貸与を受けた家族に対しても本条を遵守させる事。
- (8) 公開する事を目的とした私的利用に関しては、著作権者の権利を侵害する事の無いようにデータに適切な加工を施すか、または著作権者の許諾を受けなければならない事。
この場合それでもなお著作権者より公開を禁止する旨の通知があった時は、直ちに公開を止める事。

第9条 故意または過失を問わず甲が前条に違反した事が原因で、乙に対して第三者より損害賠償等の請求がなされ、その結果乙に賠償義務が発生した時は、甲はその債務を引き受ける事を承認し、甲の責任で解決するものとします。
なお前条(8)に該当した場合は違反の有無に関わり無くその損害について本条を適用します。

第10条 書籍を解体するに当たり、回復不可能な損壊が認められたとしても、甲は乙に対して乙指定の補償以外の補償を求めないものとします。

2. 書籍の取引市場価格に関わらず、甲は乙に対して申込手続きを開始した時点で、その書籍の価値が0円である事を認めたものとします。
3. 甲は、再製本処理されて受け取った書籍が、解体前の書籍とは異なる書籍であることを認識しているものとします。
4. 乙が返金または補償する場合は、定額小為替と切手を組み合わせて行うものとし、その為の費用は本契約が解約された場合を除いて乙が負担するものとします。

第11条 本契約に関する紛争については、神戸地方裁判所を第1審の管轄裁判所とします。

第12条 甲は、別紙注意事項説明資料（ファイルNo. 160501）を熟読して理解し、認識または同意した上で、本契約を締結する事を承認します。

第13条 第3条乃至第5条に関しては、甲の送金手続き完了をもって契約締結の意思表示があったと看做して成立するものとします。また10条2項及び4項は甲が申込み手続きの開始した時点をもって成立するものとします。

上記のとおり、甲乙間で契約が成立したので、本証書2通を作成し、甲乙各1通を保有する。